

## 令和5年度日本教育大学協会研究集会報告

令和5年度研究集会実行委員長

山形大学地域教育文化学部長 中西正樹

開催日 令和5年10月8日(日)

当番大学 山形大学(地域教育文化学部)

開催方法 Web開催

### はじめに

令和5年度日本教育大学協会研究集会は、山形大学が当番大学として開催いたしましたが、新型コロナウイルスの5類への移行後の初の開催及び後期授業開始直後ということで、対面での開催はせず、10月8日(日)にオンライン開催といたしました。当日はZoomウェビナーを使用して、ほぼリアルタイムで実施しましたが、例年全体会で行われていたパネルディスカッションおよび情報交換会は昨年度に引き続き、中止といたしました。

分科会については、Web上での発表と質疑応答を行い、各分科会ともに活発な議論となりました。非対面での開催となったにも関わらず、分科会・ポスターセッションには全国から67件の発表の申し込みがあり、従来と変わらず充実した会となりました。研究集会の概要は、以下のとおりです。

### I 全体会(10:30~11:30)

#### 1 開会挨拶

開会にあたり、日本教育大学協会長の國分充氏より、未だ新型コロナウイルス感染症の影響が残る状況と日々変革の中、模索を続ける研究活動について、研究集会で広く各大学や学校での教育研究活動における新たな知見が共有され、今後の活動へと繋がることへの期待が述べられました。これに続き、当番大学を代表して、玉手英利山形大学長より、山形大学及び地域教育文化学部・大学院教育実践研究科の成立と地域との関わりを紹介、並びに学校現場からのニーズや教育現場の問題点に対する大学の対応、教師を目指す学生へ教職の魅力を伝え未来の子供達を育てる使命など、教員養成系大学・学部・学校の益々の貢献に対する期待が述べられました。

さらに、本研究集会実行委員長の中西正樹と、来年度の当番大学である群馬大学共同教育学部長の藤森健太郎氏より挨拶がありました。

#### 2 招待講演

招待講演では、文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員養成企画室長の小倉基靖氏による「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」と題した講演が行われました。

内容として、まずは「新たな教師の学びの姿」の現実と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成のポイントとして、令和4年12月中教審答申を参考に教員就職率、教員採用倍率、中・高教員免許状の授与件数の低下の状況について説明の後、これからの改革の3つの方向性として①「新たな教師の学びの姿」の実現、②多様な専門性を有する質の高い教職集団の形成、③教職志願者の多様化等を

踏まえた育成・安定性の確保 が示されました。その中の検討事項として教員養成大学・学部・教職大学院の在り方を中心に説明があり、教員就職率の向上を目的とした「教員不足が生じる構造的要因調査」、「アンケート調査」を行い、文部科学省として「全国教員募集情報を一覧できるポータルサイトの開設」「学校への入職支援採用研修コンテンツの提供」「産・育休教師の代替者を年度当初から任用する取組の支援」等を行っている旨の紹介と国立教員養成大学・学部における教員就職率向上の取組例の紹介、大学と教育委員会による連携での地域枠の設定等について紹介がありました。また、「質の高い教員集団の形成」に係る対応のため教員養成学部・教職大学院を置く国私立大学54大学と意見交換を行い、好事例集を文部科学省HPで閲覧できるよう整備している旨報告と関連制度改正等、文部科学省の推進事業について情報提供がありました。

文部科学省として、これから「教員就職率の確実な向上」「高度専門職業人としての教師の確立(教職の高度化)」「未来志向の先導的・革新的な取組の展開、組織体制の在り方の見直し」を実施していく旨述べられました。

## II 分科会(13:00~16:40)

分科会は、Zoom会議システムを用いて、オンラインによる口頭発表が行われました。発表者が作成したスライドを画面共有で掲示しながら15分間の発表を行った後、5分間の質疑応答時間も設け、活発な議論が展開されました。分科会は、「学部段階での教員養成」「大学院段階での教員養成」「大学・学部と附属学校園の連携・協働」「へき地・小規模校教育」「『令和の日本型学校教育』の構築に向けた取組」「自由課題」という6つのテーマ別に分けました。さらに、そのうち演題数の多い3分科会についてはA・Bの2会場に分け、総計9会場をWeb上に設けました。発表件数は54件で、各会場ともに充実した研究発表と質疑・応答が行われました。

## III ポスターセッション(14:20~15:20)

様々なテーマによる全13件の発表がありました。ポスターは学会HP上に掲載して、発表題目毎に閲覧できるように設定しました。さらに、発表者の在席責任時間を分科会発表の休憩時間に位置付け、ブレイクアウトルームで実施しました。そのため、参加者全員がポスターセッション発表者にその場で質問することを可能としました。

## おわりに

このたびは、オンラインでの開催にもかかわらず、全国から330名に上る多くの皆様にご参加いただき、当番大学の山形大学地域教育文化学部並びに山形大学研究集会実行委員一同、心より御礼申し上げます。会の運営等につきましては、令和4年12月から準備を開始し、スタッフ一同万全を期して臨みましたが、至らぬ点多々あったことと存じます。それでも無事に研究集会を開催できたのは、ご参加いただいた皆様のご協力によるものです。アンケートでも、数多くのお褒めの言葉をいただき、実行委員一同、大変嬉しく思っております。次年度の研修集会は、群馬大学共同教育学部で開かれます。次年度の開催方法として、アンケートでは、対面開催、今年度と同様にオンライン(Web)開催、ハイフレックス(ハイブリッド)開催と、様々な意見が寄せられていました。社会全体が、新型コロナウイルス以前の状況に戻りつつありますが、今後も、教員養成に関する教育研究の質的向上と発展を図る機会として、研究集会がますます有意義なものになっていくことを期待いたします。ありがとうございました。

# 令和5年度 日本教育大学協会研究集会 スケジュール

(当番大学 山形大学)

【日時】 令和5年10月8日(日) 研究集会 10:30～16:40

【開催場所】 山形大学地域教育文化学部 (Web開催)

【開催概要】

## I 全体スケジュール

令和5年10月8日(日)

10:00 10:30 11:30 13:00 14:20 15:20 16:40

受付	全体会 (開会挨拶 10:30～10:50) (招待講演 10:50～11:30)	昼食 休憩	分科会 (前半)	休憩	分科会 (後半)
		ポスターセッション※			

※ポスター発表者の在籍責任時間は14:20～15:20

## II 全体会 (招待講演) [10:30～11:30]

### 1. 開会挨拶 (10:30～10:50)

- (1) 日本教育大学協会 会長 國分 充 東京学芸大学長 挨拶
- (2) 日本教育大学協会研究集会 当番大学 玉手 英利 山形大学長 挨拶
- (3) 日本教育大学協会研究集会 実行委員長 中西 正樹 山形大学地域教育文化学部長 挨拶
- (4) 日本教育大学協会研究集会 令和6年度当番大学代表  
藤森 健太郎 群馬大学共同教育学部長 挨拶

### 2. 招待講演 (10:50～11:30)

テーマ：『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について

講師：文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員養成企画室

室長 小倉 基靖 氏

### 3. 連絡事項 (11:30 終了予定)

## III 分科会 (研究発表) [13:00～16:40]

- (1) 第1分科会「学部段階での教員養成」
- (2) 第2分科会「大学院段階での教員養成」
- (3) 第3分科会「大学・学部と附属学校園の連携・協働」
- (4) 第4分科会「へき地・小規模校教育」
- (5) 第5分科会「『令和の日本型学校教育』の構築に向けた取組」
- (6) 第6分科会「自由課題」

## IV ポスターセッション [11:30～15:20]

テーマ：「自由課題」

## 【事務局】 令和5年度日本教育大学協会研究集会実行委員会

〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12 TEL：023-628-4304

国立大学法人山形大学小白川キャンパス事務部総務課地域教育文化学部事務室